

平成30年9月3日

報道関係各位

噴火災害を語り継ぐメモリアルデー

今から27年前、雲仙普賢岳の災害は、旧深江町と島原市を始め、島原半島に甚大な被害をもたらしました。9月15日には、当時の大野木場小学校の校舎・体育館を火砕流によって焼失しました。

大野木場小学校では、例年9月15日をメモリアルデーとして、噴火災害の記憶を語り継ぐとともに、自然災害に対する防災意識を高める機会としてきました。

今年も、9月15日が土曜日で週休日のため、前日の14日（金）に下記のとおり、メモリアルデーを開催します。

記

「大野木場メモリアルデー2018」

日時 9月14（金）午後1時40分～3時
場所 大野木場小学校 体育館
参加者 大野木場小学校 児童125名
備考 ・5年生の災害学習発表
・災害体験者の講話
・群読と歌「生きていたんだね」

※詳細は別添のとおり

担当部署	大野木場小学校	担当者	伊崎三紀夫
直通	0957-73-6713	E mail	ohnokoba-es@minami-shimabara.jp
詳しくは 	検索ワード		大野木場小学校
担当者 連絡先	0957-73-6713		

大野木場メモリアルデー2018 実施計画

1. 趣 旨

雲仙・普賢岳の災害は、旧島原市・深江町をはじめ、島原地方全体に甚大な被害をもたらした。安全・安心な町づくりを進める中で、旧大野木場小学校の校舎・体育館等が火砕流により焼失した9月15日をメモリアルデーとし、これまでの学習の成果の発表の機会とするとともに、メモリアル集会を通して、噴火災害の記憶を後世に伝える。また、砂防事業の重要性や防災に対する意識を高める機会とする。

2. 期 日

平成30年9月14日（金） 13:40～15:00

3. 場 所

南島原市立大野木場小学校 体育館

4. 日程及び内容

メモリアルデー2018 司 会・・・企画委員会児童2名	
13:40～13:41	はじめの言葉（司会の児童）
13:41～13:44	校長挨拶
13:45～14:00	5年生の発表（15分程度）
14:05～14:10	講評 国土交通省雲仙復興事務所長 田村 毅 様
14:10～14:11	講師紹介（司会の児童）／（機器の準備：職員）
14:11～14:31	講話 講師 下田 恭子 様 （災害時の大野木場小学校職員）
14:46～14:56	詩の群読・歌「生きていたんだね」全校合唱 （隊形用いす移動：教職員）児童：隊形移動
14:56～15:00	お礼・終わりの言葉（司会の児童）